



① 洞下集落

街道沿いに門・塀・建物と屋敷林が組み合わされた伝統的集落景観が建ち並ぶ。一つ一つの家構えは風格があり歴史を感じさせる。



② 神郡集落

伝統的集落景観が旧街道沿いに続く。筑波山へ続く「つくば道」の一風景である。



③ 作谷集落

国道 125 号から脇道に入ると、閑静な集落が続く。曲がりくねった細い道沿いに生垣のある民家など、集落景観が残されている。



④ 北太田集落

桜川河畔にある小さな北太田集落内は、ヒューマンスケールな道が多く、奥行きを感じることができる。



⑤ 吉沼集落

つくば市西部で比較的規模の大きい集落である。伝統を感じさせる民家などの建物が点在し、また、つくば市指定建造物である太政官布告高礼場跡がある。



⑥ 花室集落

ここ花室は、つくば市中心部にも近い集落である。石垣・生垣・民家が坂道とともに美しい景観をつくっている。



⑦ 山中集落

この周辺は、台地部から連沼川へ向かい緩やかな斜面をつくり、そこに屋敷林を伴った山中集落がある。水田側から見上げる家並みも青空に映えて美しい。



⑧ 島集落

板塀や豊かな屋敷林が続く。塀は、木の素材を用いることでどこか暖かい。紅葉と板塀が美しい。





① 筑波山神社

筑波山神社は、イザナギ・イザナミ2神を祀る二千余年の歴史を有する。筑波山中腹に拝殿、山頂に本殿を構える。境内は5合目より上、約360haにおよぶ。



③ 国指定大塚家住宅

18世紀前半に建築され、馬屋が美しい萱葺寄棟造り、直家の民家。国指定の重要文化財に指定されている。



⑤ バッパの森

バッパの森は、本格的なパイプオルガンを備えたコンサートホールである。分棟形式によって、変化のある景観となっている。



② 平沢官衙遺跡

古代の遺跡が蘇る。平沢官衙遺跡は、奈良・平安時代の役所跡として、国指定史跡に指定されている。筑波山もわずかに顔をのぞかせる。



④ 国土地理院の パラボラアンテナ

田園地帯に立地するパラボラアンテナは、多くの研究所を抱えるつくばの中でもシンボリックな景観をつくっている。



⑥ 金田の萱葺き民家を 活用したレストラン

萱葺民家の母屋はイタリアンレストランがオープンした。納屋や米蔵も美しく改装され、藍染めブティックとカフェに活用されている。優れた伝統的家屋を存続させていく方法の良い事例ではなからうか。



7 金村別雷神社

小貝川に隣接し、静寂な場所となっている。春と秋には例大祭が営まれ、参道には植木市などが立ち風情を添える。



8 筑波学院大学

つくば公園通り沿いの筑波学院大学キャンパスは緑豊かな中にたたずむ。



9 中央公園の池ごしからの三井ビル

つくば駅の目の前に位置する中央公園の北側から、池・松林越しに見る美しい取り合わせ。



10 吾妻西側からのH2ロケット

つくばエキスポセンターのH2ロケットは、今やサイエンスシティーつくばのランドマークとして定着した感がある。街角から街路樹越しに望めるロケットはつくばならではの雰囲気醸し出す。



11 つくば文化会館 アルス

図書館と美術館が併設された文化複合施設。隣接の公園とも調和して文化的な雰囲気を持ち、研究学園地区の代表的な建物の一つである。



12 つくば文化郷

民家の母屋を主体に長屋門など多くの古い建物を写真工房、建築アトリエ、画廊など現代的に活用している。



13 つくばセンター バスターミナルと H2ロケットと 筑波山

つくば駅バスターミナルからは、つくばのシンボリックな2つ(H2ロケットと筑波山)を同時に見ることができる。



14 都市再生機構

つくば市中心部を東西に貫く土浦学園線に面した3階建ての建物。アプローチを兼ねた中庭が特徴的である。



15 竹園西公園からの三井ビル

三井ビルは、つくば市中心部の高層ビルのなかでもひとときわ抜きん出た存在で、遠くからでも視認できるランドマークとなっている。この公園の木立越しに見上げるショットは、このビルのスケール感を最も美しく感じられる場所のひとつである。



17 二の宮ハウス

二の宮ハウスは、外国人研究者のための集合住宅である。濃茶系の色彩でまとめられ、落ち着いた雰囲気である。



16 カスミ つくばセンター

つくば市を拠点に商業施設等を展開する企業の本社ビルである。斬新な色使いが目を引く。



18 県営小野崎団地

低層の集合住宅で、シンプルながらも深みのある場所を形成している。



19 つくば市立東小学校

小学校の校舎といえば鉄筋コンクリートの無機質なものが多いが、この学校は、木の良さを生かした建物である。隣接する歩行者専用道の緑にも溶け込んでいる。